

Make smile

心のエンジンをかけるための鍵となる「笑顔」の見つけ方



本校はさまざまな困りのある子どもたちが、少人数でありながらも集団の中で学び直しをする新しい普通科定時制(単位制)高校である。本校で言う「困り」は、①不登校経験がある、②発達に特性がある、③学び直しが必要な3つである。本事業は全ての学年・生徒に実施する「キャリア」と「ビジテック」によって実施し、目指す生徒像「社会の創り手として豊かな社会生活を送ることのできる」力を身につけていくことを目指している。そしてアプローチとして「笑顔」を設定し、ポジティブに、かつ確実に生徒たちの心のエンジンを駆動させていくプログラムである。

困りのある生徒がそれぞれの「笑顔」を見つけること。それが心のエンジンの鍵となる。

自己理解 自己肯定
自分は自分であっていいんだ!

課題解決 自己有用
社会には自分の役割があるんだ!

「キャリア」

生き方を探究する科目
 生徒たちが自分の困りや願いに主体的に向き合うこと、そしてさまざまな価値観に触れて自分の可能性を理解し広げることで、自分の中に本来ある笑顔を引き出し、自分の未来を肯定的に捉え、行動できる力を育成する。

目標

具体的な教育実践
キャリアパスポート 生徒の困りや願いを生徒・保護者・学校が共有し自分らしい進路選択を促す
キャリアウィーク 企業等を訪問するバスツアーや全員が参加するインターンシップの実施

方法

職業名や職業イメージだけでなく自分の特性や性格との合致を「業務」の視点から展開する、勤労観育成の新たなアプローチへの挑戦。
 地域や社会のセーフティネットへの理解やつながりを構築することによって、安心して将来の社会生活を送る素地の育成。

「ビジテック」

総合的な探究の時間
 主体的に地域や社会に関わることで態度や課題解決の方法(=他者を笑顔にする方法)を経験的に学ぶ。「社会には自分の役割があるんだ。自分は社会を創る一員なんだ」と社会に出ることを肯定的に捉え、行動できる力を育成する。

目標

具体的な教育実践
まちのだれかを笑顔にするプロジェクト
 自分の身近な人々の困りや願いに目を向け、どのような笑顔にしたいのか、なりたいのかをチームで考え、さまざまな人の協力を得ながらアクションプランを実行する。

方法

内外で高い評価を得ることができた「ビジテック」の連携体制の継続・発展させ、地域や社会と真に協働する、だれもが主体の産学官連携体制を構築する。

2つの授業で生まれる笑顔でエンジンを駆動

学校教育目標を達成した先に目指す姿
 自立するための基礎を身につけ
 社会の創り手として主体的に行動し、豊かな社会生活を送ることができる

2024年度よりさらに活用

キャリアにおける専門家体制の活用

- スクールカウンセラー
心理の観点からサポート
- スクールソーシャルワーカー
福祉の観点からサポート
- スクールキャリアカウンセラー
進路の観点からサポート

2023年度実施実績 ビジテックの産学官連携体制

京都市

市民参加推進を担当する総合企画局とともにテーマを共有し、地域資源との接続や広報を担当する

京都奏和高校

学生インターンが生徒の探究活動の支援ならびに成果発表イベントの企画・運営を担当する

京都信用金庫

市民参加推進を担当する総合企画局とともにテーマを共有し、地域資源との接続や広報を担当する

龍谷大学



社会人セミナーの学びを整理する様子(キャリア)



異学年で交流する授業の様子(キャリア)



チームで探究する様子(ビジテック)



成果発表イベントの様子(ビジテック)



成果発表イベント最後の様子(ビジテック)

キャリア・ビジテックで展開される生徒たちの「笑顔」

